



「デジタル一眼レフによるヒメボタル撮影入門」 のご案内

6/6(土)、13(土)の両日に大垣市天然記念物ヒメボタル観察会を催します。両日とも第1部はアルバムコンサート(高木葉子氏)、第2部はヒメボタル観察(一般参加者)・写真教室(撮影希望者)を行います。写真教室では、デジタル一眼レフカメラで撮影したヒメボタル撮影の基本を学びます。写真教室参加者には当日のみ有効の撮影許可証を発行します。教室の後、実際にヒメボタルの撮影をすることができます。**人数限定のため事前申し込みが必要です。**

-----参加ご希望の方は、次の注意をよくお読みください-----

○写真教室(ヒメボタル撮影)申込方法

往復葉書に、1)氏名(複数の場合は代表者のみで可)、2)住所、3)電話番号、4)参加人数を記入の上、1日につき1枚の往復葉書で事務局まで要申し込み。到着順に参加証を返送します。当日は参加証を忘れずに持参してください。初心者はまず6日へ参加してください(両日申込も可)。

○持ち物(撮影を希望される方)

- 1、**カメラ**(デジタル一眼レフカメラ、またはレンズ交換式カメラが望ましいが、コンパクトデジタルカメラでも可。ただし、高感度撮影、長時間露光撮影が可能なもの。)
- 2、**三脚**(必須)。
- 3、**ケーブルリリース**、または赤外線リモコン。黒い布、黒い帽子など液晶を遮光するもの。

○持ち物(参加者共通)

1、ペンライト(光量の小さなもの。ヒメボタルは強い光が当たると、発光をやめてしまいます。大光量のライトは不可。小光量のペンライトなどがよい。ペンライトの先に赤いセロファン紙をかぶせるか、油性マジックで発光部分を赤く塗りつぶしておくこと。)

○持ってきてはいけないもの(参加者共通)

1、蚊取り線香、虫除けスプレー(ヒメボタルは生きています。)

○撮影希望の初心者の方へ(事前にご自分のカメラについて、次の点についてよく調べておいて、ご自分で操作できるようにしておいてください)。

- 1、マニュアル撮影の仕方(シャッタースピード、絞りをマニュアルに変更する仕方。オートフォーカスを解除し、マニュアルフォーカスとする仕方。)
- 2、ISO感度の変更の仕方。
- 3、長時間露光の仕方。
- 4、ノイズリダクションのON、OFFの仕方。
- 5、スピードライト(フラッシュ)の発光禁止の仕方。
- 6、所謂ミラーレス一眼カメラなど常時液晶モニターが点灯する機種は必ず黒い布などで覆い、光が漏れないようにすること。同様に一眼レフカメラも液晶を確認する時には黒い布などで覆い光を漏らさないようにすること。

-----ご注意ください-----

○両日ともに午後10時から午前1時30分までは車の通行できません。車でお越しいただくことは可能ですが、午前1時30分より前にお帰りの方は麓に車を止めて来山ください。

○参加費はコンサート会場で100円お願いします。コンサート終了後、写真教室受付で追加の100円と事務局から返信した葉書と引き替えに当日のみ有効の撮影許可証をお渡しします。

【金生山姫螢2015 写真教室のご案内】

デジタル一眼レフによる ヒメボタル撮影入門

—ヒメボタル、星景、夜景を撮ろう—

街明かりをさけてふと見上げた夜空に輝く星。深夜の漆黒の中、懸命に光を放つヒメボタル。一瞬の美しさは、一瞬であるからこそ美しいのかもしれませんが、もしその輝きを写真に残すことができたなら・・・。

金生山姫螢2015に合わせて、初心者でも分かる講座「デジタル一眼レフによるヒメボタル撮影入門」を開催します。「こんなことを聞いては・・・」とか、「こんな初歩的なことを質問するのはどうも・・・」などのご心配は無用です。

教室では金生山ヒメボタルや星景写真などを紹介し、夜の撮影の仕方の基本を学びます。講座の後は金生山のヒメボタルを撮影することができます。

ヒメボタル撮影希望の方は、全員写真教室にご参加いただくこととします。事前申し込みが必要です(6日は50名、13日は30名限定)。一般参加者は事前申し込み不要です。

日時	2015年6月6日(土)、13日(土)午後10時(雨天決行)
場所	大垣市赤坂 金生山明星輪寺
参加費	環境保護協力金として100円(写真教室参加者は200円)
講師	篠田通弘 (http://miharu.pro.tok2.com)
事務局	明星輪寺 (0584-71-0124)

(<http://www.mirai.ne.jp/~kinsyou3>)

※上記以外の夜間の立ち入りは禁止されています



主催 大垣市 企画運営 金生山自然文化苑保存会



Copyright (c) Michihiro Shinoda All Rights Reserved.

2013年6月 0:51撮影開始 10分間露光相当のコンポジット処理
Nikon D3s + AF-S NIKKOR 35mm f/1.4G
ISO 3200 F1.4 開放

金生山姫螢2015に参加の皆さんへ ヒメボタル撮影初心者の皆さんへ

ヒメボタル成虫の命はわずか数日です。その間に必死に命の光を輝かせます。ヒメボタルの雌は後翅が退化して飛ぶことができないため、草などにつかまって光を放ちます。雄は飛翔して雌のもとに飛びます。大垣市天然記念物金生山ヒメボタルの命は、ここに残された自然の豊かさの中で今日まで育まれてきました。

私たちは金生山に今日まで生息するヒメボタルを通して、金生山の自然に思いをはせていただきたいと思っています。つきましては、いくつか守っていただきたいことがあります。

1、ヒメボタルの生息環境にないことは避けてください。喫煙、大声や明るいライトの使用は**厳禁**です。ペンライトであっても、ヒメボタルを照らしたりしないでください。カメラの設定のためにライトを照らすことも控えてください。手探りで操作できるよう、目を閉じて繰り返し練習をしてください。

2、カメラの液晶モニターは輝度を最も下げておいてください。昼間にちょうど良い明るさでは暗闇では明るすぎます。黒い布を必ず用意し、液晶モニターで確認する時は光が漏れないようにしてください。所謂ミラーレス一眼などモニターが常時点灯するカメラは必ず黒い布で覆ってください。

3、天然記念物ヒメボタルの捕獲は禁止されています。

2日間以外の夜間立ち入りは禁止されています。金生山姫螢が皆さんのご協力により続けられることに感謝しています。金生山姫螢は皆さんをお待ちしています。



ヒストグラム表示
左ほど暗く(照度0)、右ほど明るい(照度255)。RGBそれぞれ表示させている。

金生山姫螢写真教室に参加の皆さんへ

写真教室へお申し込みをいただきありがとうございます。参加許可証は届きましたか。許可証が届いた方に、表と左に記載した注意事項の他にいくつか補足をします。

- 1、表の持ち物をよくご確認の上、参加許可証を忘れずに持参ください。
- 2、カメラの液晶モニターはヒストグラム表示としてください。ヒストグラムはRGBそれぞれ、またはトータルの256階調をグラフ化したものです。グラフの左ほど暗く、右ほど明るくなっています。金生山ヒメボタルは暗闇に光ります。黒つぶれするぐらいがちょうどよいとも言えます。上の画像とヒストグラムを参考にしてください。
- 3、第1回開催場所と第2回開催場所は異なります。写真教室終了後、それぞれの場所へご案内します。決められた場所で撮影してください。夜間は危険なため、指定場所以外でのヒメボタル撮影は禁止します。
- 4、第1回(6日)は一列になって撮影していただきます。場所が狭いため、互いの三脚を重ね合わせて立てるようにご協力ください。
- 5、第2回(13日)は指定場所でそれぞれ分かれて撮影していただきます。そのため、場所によっては撮影者の姿が写り込んだり、液晶モニター確認の光が入ったりすることがあります。撮影者は左の注意を守った上、できる限りその場での撮影画像の確認は避けるようにしてください。

参加許可証が届いて写真教室に参加された人だけが撮影することができます。天然記念物保護のためご理解、ご協力をお願いします。